

現代ビジネス学部
TANIGUCHI Tomoji
PROFILE
<b>職名</b> 現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授
<b>学歴</b> 東北大学大学院教育情報学 教育部博士前期課程修了 (2004)
<b>学位</b> 博士（文化政策学）(京都橋 大学、2010)
<b>所属学会</b> 日本教育情報学会、文化経 済学会、日本アーカイブズ 学会
<b>専門分野</b> 観光文化論、観光情報論、 文化情報学、教育工学

## 谷口 知司

たにぐち ともじ

**研究課題1●観光文化に関する研究**

**研究課題2●観光情報の体系化**

**研究課題3●文化資料の情報化（デジタル・アーカイブ開発）**

### 業 績

#### 【著書】

『情報処理と教育』／開成出版、1997年12月、単著。

『観光文化の振興と地域社会』／ミネルヴァ書房、2002年5月、共著。

『コンピューティングとコミュニケーション』／学術図書出版、2003年4月、共著。

『観光文化論』／ミネルヴァ書房、2004年6月、共著。

『デジタル・アーキビスト概論』／日本文教出版、2006年8月、共編著。

『デジタル・アーキビスト入門』／日本文教出版、2007年3月、共著。

『まちづくりと共感、協育としての観光～地域に学ぶ文化政策～』／水曜社、2008年2月、共著。

『準デジタル・アーキビスト』／日本文教出版、2008年8月、共著。

『文化資料の情報化と文化の継承』／開成出版、2009年12月、単著。

『観光ビジネス論』／ミネルヴァ書房、2010年5月、共編著。

#### 【論文】

「地域文化情報の学習支援カリキュラムの開発」／『文化情報研究センター研究報告』Vol.1、1999年11月、共著。

「『観光資源』概念の再検討—観光情報データベース構築への予備的考察」／『文化情報研究センター研究報告』Vol.1、1999年11月、共著。

「所蔵資料のデジタル・アーカイブの開発～地域資料の情報化と素材データベース～」／『文化情報研究センター研究報告』Vol.1、1999年11月、共著

「文化情報データベースの構成に関する基礎研究(1)」／『文化情報研究センター研究報告』Vol.1、1999年11月、共著。

「地域資料の情報化と地域素材データベースの構成に関する基礎研究～飛騨における地域資料データベース化への提言～」／『飛騨地域民俗文化資源調査報告「飛騨の匠」』、2000年3月、単著。

「岐阜女子大学のデジタル・アーカイブスの開発について(1)—博物館、教育研究資料の情報化」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.2、2001年2月、共著。

「陶磁器産地再編過程における情報、交流、流通、文化の意義と役割に関する考察」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.2、2001年2月、共著。

「コスモロジーとしての郡上八幡とその文化創造」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.2、2001年2月、共著。

「地域資料「白川郷」のデジタルアーカイブ化について(1)～和田家関連資料のデジタル化～」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.2、2001年2月、共著。

「地域資料流通のためのデジタル・アーカイブス開発の課題」／『電子情報通信学会技術研究報告』2001年6月、共著。

「地域文化資料の管理・流通を目的とするデジタル博物館の情報構成(1)」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.3、2001年6月、共著。

「地域の固有価値のデジタルアーカイブ化についての考察—近江八幡におけるデジタルアーカイブを事例として—」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.3、2001年6月、共著。

「地域における定住・交流政策とデジタルアーカイブの役割に関する一考察—姉川流域をフィールドとして」／『岐阜女子大学文化情報研究センター研究報告』Vol.3、2001年6月、共著。

「情報としての地域文化資源のデジタルアーカイブ化とその活用に関する考察—ヴォーリズ建築と近江商人の旧居群のデジタルハイビジョンによるアーカイブ—」／『文化経済学』第3巻第1号、2002年3月、共著。

「地域資源のデジタルアーカイブスの構成についての研究—中山道「醒ヶ井宿（米原町）のアーカイブ—」／『文化情報研究』Vol.4、2003年3月、共著。

「メディアの特性を活かした観光情報の提供についての考察」／『文化情報研究』Vol.4、2003年3月、共著。「デジタル・コンテンツの流通・共同利用のための情報管理記録項目～地域文化資料におけるデータベースの構成～」／『文化情報研究』Vol.4、2003年3月、共著。

「交流と連携による知の創発プロセスについての一考察」／『文化情報研究』Vol.4、2003年3月、共著。

「温泉リゾートを巡る今日の動向と今後の展開における情報の役割に関する研究」／『文化情報研究』Vol.4、2003年3月、共著。

「地域の文化資料を用いた教材開発プロセス（ロードマップ）の課題(1)」／『文化情報研究』Vol.6、No.3、2004年11月、共著。

「大学教育におけるデジタル・アーキビスト養成の学習目標の試案」／『文化情報研究』Vol.6、No.3、2004年11月、共著。

「デジタル・アーキビストの養成カリキュラムの学習内容・学習行動の試案」／『文化情報研究』Vol.6、No.3、2004年11月、共著。

「教育情報とデジタル・アーキビスト(2)」／『日本教育情報学会「教育情報研究」』Vol.20、No.4、2005年1月、共著。

「デジタル・アーキビストの養成カリキュラム—大学教育における文化・知的財産・情報技術等の実践力を重視したカリキュラムの構成—」／『文化情報研究』Vol.7、No.4、2006年3月、単著。

「木田宏と教科書『民主主義 上・下』について～オーラルヒストリー等の木田教育資料から～」／『日本教育情報学会「教育情報研究」』Vol.21、No.4、2006年6月。

「道の駅デジタル・アーカイブを用いた地域文化情報資源活用の研究(1)—地域文化情報、観光文化情報、教育文化情報の集積・発信基地として—」／『日本教育情報学会「教情研究07」』No.1、2007年2月、共著。

「デジタル・アーカイブの構成・利用に関する評価」／『日本教育情報学会「教情研究07」』No.1、2007年2月、共著。

「グリーン・ツーリズムの成熟過程の考察—岐阜県高山市を事例として」／『文化情報研究』Vol.8、2007年2月、共著。

「観光地における「真正性」とは何か—おわら風の盆を事例として—」／『文化情報研究』Vol.8、2007年2月、共著。

「持続可能な開発のための教育と観光学の視点(1)」／『文化情報研究』Vol.8、2007年2月、単著。

「尾道における地場産業である帆布を用いた地域振興と地理学的考察」／『文化情報研究』Vol.8、2007年2月、共著。

「観光地“白川村”の発展過程と観光の果たす役割」／『岐阜女子大学紀要』第35号、2007年3月、共著。

「文化資料のデジタルアーカイブ開発プロセスにおける知的財産権と諸権利」／『文化経済学』第6巻1号、2008年3月、共著。

「観光地の景観地理学的考察（Ⅰ）—地域の良好な景観育成および観光資源としての役割について—」／『岐阜女子大学紀要』第37号、2009年3月、共著。

「文化遺産等のCG再現とそれを活用した地域振興について」／『文化経済学』第7巻1号、2010年3月、共著。